

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書（3ヶ月以上1年未満）

2017年 7月 10日

東京大学での所属学部・研究科等：	学際情報学府	学年（プログラム開始時）：	修士2
参加プログラム：	全学交換留学	派遣先大学：	シドニー大学
卒業・修了後の就職（希望）先：			
	1. 研究職		2. 専門職（医師・法曹・会計士等）
	3. 公務員		4. 非営利団体
	✓ 5. 民間企業（業界： ）		6. 起業
	7. その他（ ）		

派遣先大学の概要

シドニー大学（英語: The University of Sydney）は、1850年にオーストラリアのニューサウスウェールズ州の州都シドニーに設立された同国最古の名門大学です。シドニー大学は、その研究と実績の観点から、オーストラリア国内で高くランクされている大学連合であるGroup of Eightに所属して、環太平洋地域を代表する37の主要大学で構成される環太平洋大学協会(APRU)のメンバーでもあります。

留学した動機

以前から、旅行ではなく長期の海外滞在を経験したいと思っていました。手段は色々ありますが、交換留学制度を利用することが最も有意義であり、かつ、自由度が高いと考え、全学交換留学への応募を決意しました。また、大学公式の制度を利用することで滞在費用を安く押さえられる（学費が安い・奨学金を受給しやすい）点も本制度を利用することにした理由の一つです。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況：	2016年	修士2	年生の	S 2	学期まで履修
②留学中の学籍：	留学				
③留学期間等：	2016年	7月～	2017年	6月	
	修士2	年時に出発			
④留学後の授業履修：	2017年	修士2	年生の	A 1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期：	2017年	修士2	年生の	8月頃に	行う予定
⑥本学での単位数：	留学前の取得単位			26	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単			42	単位
	留学後の取得（予定）単位			10	単位
⑦入学・卒業／修了（予定）時期：	2015年	4月入学	2018年	3	月卒業／修了
⑧本学入学から卒業／修了までの期間：	3年		0ヶ月間		

⑨留学時期を決めた理由：

修士論文作成を日本で進める必要があるため、修士2年の初夏までの帰国が必須でした。そもそも大学院入学後に情報収集を始め、その時に申請できる最短が「2016年夏～2017年夏」だったと記憶しているため、必然的に今回の日程となりました。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き（手続きにあたってのアドバイスなど）

手続きは全て専用のオンラインページで完了します。国際交流課の担当者が手続きに関する資料を送ってくださったこともあり、迅速に完了できました。必要時は国際交流課が支援してくださると思います。

②ビザの手続き（ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど）					
学生ビザを申請しました。こちらも全てオンラインで完了します。手続き自体はすぐに完了できますが、申請に当たって用意すべき資料が多かった記憶があるため、事前にきちんと内容を把握する必要があります。シドニー大学からのレターが申請に必要なのですが、それがなかなか到着せず困惑しました。					
③医療関係の準備（出発前の健康診断、常備薬、予防接種等）					
常備薬は総合風邪薬（2種類）と下痢止めを持参しました。旅行ガイドブック等を読むと、オーストラリアは薬の持ち込みについても厳しいと言われていますが、大量の常備薬を持参しても入国時に申請して担当者に見せればすぐに通してくれるはず（私はそうでした）。					
④保険関係の準備（加入した海外旅行傷害保険・留学保険等）					
東大とシドニー大学の双方から保険加入を求められたため、それだけ加入して済ませました。					
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科（教育部）で行った手続きなど（履修・単位・試験・論文提出等に）					
修士論文の中間発表を次年度に持ち越す必要があったため、それだけ学務に確認しました。					
⑥語学関係の準備（出発前の語学レベル・語学学習等）					
出発前はTOEFL94点を獲得していましたが、会話レベルが低いことは自覚していました。しかし、研究室の活動が忙しかったため、ほとんど準備せずにそのまま渡航しました。					
⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど					
欲しいものは現地で揃えられるので（例：ダイソー・無印良品・UNIQLO・日本食）、スーツケースに無理やり荷物を入れる必要はないと思います。私はかなり早め（オリエンテーションの2週間前）に現地到着したのですが、現地の気候や雰囲気への慣れに時間がかかったため、それでちょうど良かったと思いました。					
学習・研究について					
①履修した授業科目のリスト（授業を履修した場合）					
※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの（又は行う予定のもの）に●をつけてください。					
授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Marketing Principles	6	●	Brand Management	6	●
New Product Development	6	●	Customer Analytics and Relationship	6	●
Personality and Intelligence	6	●	Social Psychology	6	●
Applications of	6	●			
②留学中の学習・研究の概要（授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等）					
私は、心理学を学部の授業で、マーケティングを修士の授業で勉強しました。学部の授業はレクチャー（一般的な講義）+チュートリアル（少人数のゼミみたいなもの）で成り立っています。レクチャーでの授業資料は事前にダウンロードできるため、それは必ず授業前に読んで、知らない単語などは調べておきました。チュートリアルの内容は授業によりますが、特に予習はしていませんでした。修士の授業は3時間のレクチャーのみですが、基本的にセメスターを通したグループワークが課されるため、授業外で時間をつくってグループで集まるのが普通でした。					
③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間（授業時間・授業以外の学習時間）など					
平日は基本的に学校に行って授業時間以外は勉強していました。日々の授業の他に課題がたくさんあるのですが、最初の授業で課題内容や締め切りは明らかにされるので、自分で上手に時間を管理して取り組んでいました。2つ目のセメスターは3授業・18単位だったのですが、私としてはこれがちょうど良い負荷量でした。					

④学習・研究面でのアドバイス
課題の締め切りは大体同じ時期（セメスター中頃と終盤）にやってくるので、その辺りの期間は非常に忙しくなりました。タイムマネジメント能力が求められます。また、どの授業を履修するかですが、分野によって学生構成に相当な偏りがある点だけ記載しておきます。心理学はほぼ国内学生だったのですが、マーケティングはほぼ留学生でした。ビジネス系の修士課程は80%程度が中国人らしく、実際に私が履修した授業も似たような比率で非常に驚きました。もちろん授業は全て英語ですが、全体の雰囲気はかなり異なるため、それが気になる方は留意してください。
⑤語学面での苦勞・アドバイス等
上手に話せない劣等感みたいなものは一度は感じると思いますが、それを割り切ればストレスは相当に軽減されます。特に、英語ネイティブの人と話すときは話半分でも内容を理解してもらえることが多いので、とりあえず言葉を紡ぐことが大切だと思います。あとは基本的に表情と愛嬌で乗り越えられるでしょう。
生活について
①宿泊先（種類（寮・ホームステイ・ルームシェア等）、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など）
1年間の滞在の中で、最初の半年は大学近くの学生寮（一人部屋でシャワー・トイレ付）、残りの半年は自分で見つけた部屋でホームシェア（個別に部屋はあるが、シャワー等は共同）をしました。2017年時点のシドニーは激しい不動産バブルが発生しているため、家賃はとにかく高いです。後半半年の部屋はGumtreeという豪州最大(?)のオンラインコミュニティサイトで部屋を探しました。オーストラリアでは部屋の貸し借りがカジュアルに行われており、私の場合も家のオーナーと個別に話をして滞在を決め、家賃も現金手渡しというものでした。シドニー大学周辺は留学生向けの民間学生寮が多いですが、概して割高です。例えば、まずは現地到着してからゲストハウス（ホステル）に滞在して、そこでGumtreeを利用して家を探せます。ワーキングホリデーで滞在する方は大体この手法を採るようです。
②生活環境（気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法（海外送金・クレジットカード）など）
シドニーは年間を通して東京より温暖です。また、日本のように雨が集中する時期というのはなく、年間を通して降ります。シドニー大学はシドニー中心部にあるため、生活環境で苦勞することはありません。金銭の管理は「オンラインバンク+マネパカード」を強く薦めます。現地の銀行口座を開設して日本から送金する、基本的にクレジットカードを利用する、という人もいますが、それでは手数料や為替レートで相当に損をします。オンラインバンクの開設、マネパカードの取得ともに数週間はかかるので、早めの準備が必要です。
③危機管理関係（留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など）
中心部の治安は全く問題ありません。シドニー全体について言えば西部と南部が少々廃れた雰囲気のため、そこに住むのは避けた方がよいと思います。シドニーで病院に行きたい場合は、まず市街地の総合診療に出向きます。身体の湿疹がひどくなった時に一度だけ診療を受けましたが、必要な外用薬をすぐにもらえました。
④留学に要した費用について（航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算）
・毎月の生活費とその内訳
家賃：90,000円 食事：50,000円 その他：30,000円
・留学に要した費用総額とその内訳
留学期間：12ヶ月 渡航費：200,000円 家賃：1,300,000円 食費：600,000円

⑤奨学金（支給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など）

個人で応募した「平和中島財団」の奨学生になれたため、そちらから奨学金を頂戴しました。合計支給金額は270万円（月20万円+往復渡航費としての30万円）程度だったと記憶しています。数ある奨学金の中でも条件が良いため倍率は毎年10倍を超えるのですが、挑戦する価値はあると思います。私が通過したのは幸運でした。

⑥学習・研究以外の活動（スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など）

休暇期間中は国内旅行を楽しみました。夏休みにはパース・ホバート、その他の休暇期間にはメルボルン・キャンベラを訪れました。どこも素晴らしかったですが、個人的にはパースが一番のお気に入りです。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制（語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等）

シドニー大学は留学生比率が高いため、各種サポート体制は十分に整っていると思います。私は特に利用しませんでした。留學生担当の方から頻りにイベント・サービス等の案内メールが届きました。

②大学の設備（図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等）

学習スペースはキャンパス中にあり、共用デスクトップの数も十分にあると思います。これはオーストラリア全土の問題なのですが、WiFi速度が期待するほど速くないのでそれは注意が必要です。

留学と就職活動について

①（就職活動を既に行った場合）留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

②（今後就職活動を行う場合）留学が就職に対する考え方に与えた影響

月並みですが、やはり自分の国籍や所属を強く意識させられる機会が多かったこともあり、せつかくならば日本企業に所属しながらも国外も常に視野に入れて仕事ができる環境を身を置きたいと思うようになりました。

③留学中の就職活動への対策など（もしあれば）

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|-------------------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職（法曹・医師・会計士等）（職名： ） |
| | 3. 公的機関（機関名： ） |
| | 4. 非営利団体（団体名又は分野： ） |
| | 5. 民間企業（企業名又は業界： ） |
| | 6. 起業（分野： ） |
| | 7. その他（ ） |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

「個としての強さ」は相当に培ったと思っています。それは単に自己主張が激しいということではなく、自分の芯を確保しながら他者の考えを受け入れていく柔軟性も備える強さです。最初から最後まで人生初のことばかりだった中で、自分はどうしたいのか、を常に意識して過ごす必要がありました。その一方で、自分が完全にマイノリティの環境にいたからこそ、優しく接してくれた人々の存在に感謝するとともに、じゃあ自分は他者に何ができるのか、を強く考えるようになりました。

②留学後の予定

修士論文の作成と就職活動が主な予定です。それらの目処が立てば、海外旅行をします。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

最終的に私は辞退したのですが「トビタテ」という官民協働の奨学金プログラムがあります。これは選考のハードルが低いわりに相当の金額を受給できる非常に良いプログラムです。これに通過できればある程度の金銭的負担は逃れられると思います。ぜひ留学に挑戦してみてください。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

日豪プレス：在豪日本人向けのウェブサイト、ニュースやイベント情報など色々と載っています。
Gumtree：コミュニティサイト、日用品から不動産まであらゆるものの個人間取引を扱っています。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

**The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form
(for programs from one semester to a year)**

6th, July, 2017

Faculty/Graduate School at UTokyo:	Faculty of Economics	Year at the time of Study Abroad	M2
Program Attended:	USTEP (Outbound)	Host University:	the University of Sydney
Occupation after graduation (intended):			
	1. Research		
	2. Specialist (Medical • Judiciary • Accountant)		
	3. Civil Service		
	4. NPO		
	✓ 5. Private sector (Type of industry: Finance)		
	6. Entrepreneurship		
	7. Others ()		

Outline of the receiving institution overseas

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form
(for programs from one semester to a year)

Reason why you decided to participate

For the consideration of career after graduation, I hope to gain more knowledge in finance. However, all finance courses in UTokyo are in Japanese, which I cannot understand. So study abroad in English spoken countries is an alternative choice.

Period of Study etc.

(1) Academic status before the program:	Completed the	A2	semester of the	2nd	Year of	Master's	study in year	2016	
(2) Status during the program:	Study Abroad [留学]								
(3) Duration etc.:	From (Month) (Year)		February	2017	to (Month) (Year)		July	2016	
	Departing in		2nd	year of	Master's	study in year		2017	
(4) Registering for classes on return:	Re-registered for classes from	S1	semester of the	3rd	Year of	Master's	study in year	2017	
(5) Period of job hunting:	Planning to start		in the month of	February	2018	of the	3rd	Year of	
	Master's		study in year		2018				
(6) Number of credits earned at UTokyo:	Number of credits earned before program:						23	credits	
	Number of credits earned during the program which will be processed for transfer:							credits	
	Number of (expected) credits after program:							credits	
(7) Enrolled/ Expected timing of graduation:	Enrolled: (Month) (Year)		September	2015	Graduated/completed: (Month) (Year)		September	2018	
(8) Time taken from enrollment to graduating/completion:	3			years	0				months
(9) Reason for choosing period to study abroad:									
This period is the last chance for me to study abroad.									

Preparation for the program					
(1) Application process (please give any advice on dealing with the application process)					
Prepare your reason of studying abroad seriously, please.					
(2) Visa application (type of visa, where to apply, processing time, any advice on visa application)					
Student visa(500). Usually it will take more than one month. If you are in a hurry, email to Australia Embassy directly. It does work.					
(3) Medical check-ups (health check-ups before departure, inoculations, etc.)					
There are two designated health check-up hospitals. You can find the infor on the embassy website. The cost is 20,000 yen.					
(4) Insurance (information about insurance for travel/studying abroad purchased)					
For me, it is compulsory to buy OSSMA, OSHC and traveling insurance. Three in total.					
(5) Procedures required by your Faculty/Graduate School (any information about course registration, credits, exams, submission of dissertations etc)					
Before departure, it is needed to register courses.Usually four subjects are required.					
(6) Language preparation (language level before the program, lessons etc.)					
Because I enrolled in an English program in UTokyo, there is no language limitation for me. But you can check the information on the website of exchange program.					
(7) Items which should be taken with you from Japan and any other advice on things which should be done before leaving Japan.					
Adaptor!					
Information on the academic/research program					
(1) Copy of list of subjects taken (if classes were taken)					
※ Please mark with ● all subjects which you are processing to transfer credits to the University of Tokyo					
subject	number of credits	credit transfer	subject	number of credits	credit transfer
advanced asset pricing	6				
financial time series analysis and forecasting	6				
corporate valuation	6				
merger and acquisition	6				
(2) Outline of the program (Style of the lessons/preparation study/review study, thing which left an impression on you, etc.)					
For all of the courses, you have both mid and final exams. What's more, between the two exams, there is group assignment.It's a really good chance to gain a comprehensiveness of the whole subjects.					
(3) Number of subjects/credits per semester, number of hours of study/research time in a week (including class hours and study out-of-class hours)					
4 subjects each semester. Study hours depends on which subject you choose.					
(4) Advice on aspects of academic/research work					

<p>If you want to challenge yourself and like math, choose subjects marked with QBUS. If you want more private time, choose subjects marked with BUSS.</p>
<p>(5) Problems experienced with language issues, advice concerning language, etc.</p>
<p>whenever you get problem. it's recommended to consult with staff in student center.</p>
<p>Aspects of life</p>
<p>(1) Accommodation (Type (home-stay, room-sharing etc.), cost, atmosphere/appearance of accommodation, how you found it, etc.)</p>
<p>I lived in a sharehouse with other girls. The accomodation suggested by school, urbanest, is the most expensive. But your budget for accomodation should be over 250 australian dollars per week.</p>
<p>(2) Living environment (such as climate, environment around the institution, transport facilities, food, managing your money (overseas money transfer, credit cards))</p>
<p>It can be drier than Tokyo. And more sunshine.</p>
<p>(3) Aspects of risk and safety management (safety of local region, condition of medical facilities, any action taken in maintaining your mental and physical health, etc.)</p>
<p>Sydney is not as safe as Tokyo. It's better not to hang out alone in the midnight, especially a girl.</p>
<p>(4) Details of expenses (breakdown of costs, such as airfare, program fees, cost of required books, rent, food, travel cost, money spent on entertainment)</p>
<p>•Monthly living cost and its breakdown</p>
<p>monthly living cost 1780 dollars for every week: accomodation 145 food 80 tele 20</p>
<p>•Total cost spent on studying abroad and its breakdown</p>
<p>total cost is 50,000 dollars</p>
<p>(5) Financial aid (if you were receiving financial aid/scholarships, please give the name of the source of the aid, amount, and how you found it, etc.)</p>
<p>70,000 Japanese Yen per month from scholarship</p>
<p>(6) Activities other than academic/research work (sports, cultural, volunteer/internship, weekend activities, etc.)</p>
<p>surfing or swimming in the beach, bush walk, hiking, mountain climbing. All of these are popular activities in Sydney. There are lots of parks in and around Sydney. Recommend Blue Mt. and Royal National Park. In the univ, there are lots of clubs and societies. I registered MOSAC dancing club, They have free class almost every weekday.</p>
<p>Environment of the receiving institution</p>
<p>(1) Support facilities for students taking part in the program (such as language, academic, living support mechanism and counseling services)</p>

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2017年7月7日

東京大学での所属学部・研究科等:	教養学部	学年(プログラム開始時):	学部4
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	シドニー大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input checked="" type="checkbox"/>	1. 研究職	<input type="checkbox"/>	2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
<input type="checkbox"/>	3. 公務員	<input type="checkbox"/>	4. 非営利団体
<input checked="" type="checkbox"/>	5. 民間企業(業界: IT)	<input type="checkbox"/>	6. 起業
<input type="checkbox"/>	7. その他()		

派遣先大学の概要

オーストラリア最古の名門大学。

留学した動機

- ①柔軟な若い頃の内異なる環境で生活してみたかったため。
- ②英語力の向上。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2016年	学部4	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2016年	7月~	2017年	6月	
	学部4	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2017年	学部5	年生の	A1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	年		年生の	月頃に	
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			76	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			0	単位
	留学後の取得(予定)単位			76	単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2013年	4月入学	2017年	3	月卒業/修了
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					

サークル活動などにかまけてうかうかしていて、気付いたらこの時期であった。みなさん留学の準備は早めに行きましょう。

留学の準備

- ①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

全てネット上で行われた。申請書類は全てスキャンするなどして、電子データなどを用意しておくが良い。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

学生ビザ NON-AWARD SECTOR(Subclass 575)というのを申請した。指定の医療機関での健康診断が必須。書類提出に関しては、日本人学生はAssesment Level 1でネット上だけで終わるらしい。自分は中国国籍(通常はAssesment Level 3)だったが、交換留学時はStreamlined Processというものが適用できて、比較的簡単にビザ申請ができる。通常は2週間ほどで下りるらしいが、自分は東京大学のEnrollment Certificationを提出するのを忘れて追加で送ったのもあって、1ヶ月ほどかかった。何事も早めにしておくに越したことはない。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

ビザ申請時にオーストラリア大使館指定の医療機関で健康診断が必要。自分は聖母病院(<http://www.seibokai.or.jp>)というところで受診した。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東京大学指定のOSSMAと学研災付帯 海外留学保険に加入した。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

出発時には、卒論を書くべき4年生だった。指導教員と相談の上、留学先で卒論を進めつつ、帰ってきた後に中間発表などを行うことにした。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

TOEFL 94点
日本の学生が苦手にながちなSpeakingは、英語の塾講師のアルバイトを通じて、中学レベルの基礎的な例文を音読することを繰り返していたらいつの間にか上達していた。あとは英語プレゼンのある授業をとったり、東大に来ている留学生と交流するなどした。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

語学はいくら勉強してもしたりないので、できる限り勉強しておくが良い。それがそのまま、留学先の生活の質に直結する。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Computers, Discourse, Language	6		Language Acquisition	6	
Foundations of Computer Systems	6		Advanced Morphology and Syntax	6	
Semantics and Pragmatics	6		Machine Principle and Operation system	6	
			Introduction to Artificial Intelligence	6	

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

1科目につき、だいたいレクチャーとチュートリアルが2種類あり、レクチャーは講義、チュートリアルは演習といった位置付けである。授業にもよるが課題の数が多く、こなしていけばしっかり力がつくという印象。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

交換留学生は最低3クラス、普通は4クラス取るのが標準。1科目につき、週6~8時間の自習をするのが標準的らしい。

④学習・研究面でのアドバイス

困ったら気軽に授業の講師や、チューターに相談すると良い。大抵親身になって、相談に乗ってくれる。

⑤語学面での苦労・アドバイス等

自分は聞き取りが一番苦労した。日常会話については、自分はドラマを見て学んだ。ドラマは映像やストーリーがあるので、それらの文脈と表現が結びついて、覚えやすい。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

一学期目は大学から紹介された学生寮(Urbanest)に住んでいた。最初の学期が終わる頃に、契約が終わり、延長するとなると家賃がかなり高くなってしまったので、シェアハウスに引っ越した。シェアハウスを探すにはFlatmateというサイトが便利。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

食事について、シドニーには様々な国からの人々が来ているので、国際色豊か。アジア料理からヨーロッパ料理まであるが、これといったオーストラリア料理というものはない(カンガルー肉?)。お金は現地で銀行口座を開いた。多くの店で、カード一つで決済が出来て便利である。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気がつけた点など)

夏休みで友達も皆帰り、寂しかった時は、筋トレと冷水浴でメンタル維持をした。おすすめである。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

シドニーは全体的にももの値段が高い。毎月の生活費の内訳はおおよそ、
家賃:9万
食費:3万
雑費:1万

・留学に要した費用総額とその内訳

学費:東大の学費53万
生活費:150万

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

全学交換留学の奨学金(月7万)
埼玉県からの奨学金(渡航や保険などの初期費用20万)

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

日本文化サークルに顔を出すなどした。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

エッセイの添削サービスなどがあるらしい。
公共交通機関がすべて半額になるカードがもらえる。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館が24時間空いているので、よく利用していた。
食堂はフードコートみたいな感じで、値段は特に安くはない。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

就活はしないので、特になし。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

将来働く場所を、特に日本に制限する必要もないだろう、と思うようになった。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

特になし。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| | 5. 民間企業(企業名又は業界:) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

新しい環境に身を投じるということで、価値観や視野が広がったように思う。
もし二つ目の人生があったとしたらこんな感じなのだろうか、と少し不思議な気分でもあった。

②留学後の予定

国内の大学院に進学する予定。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

迷っているくらいなら、とりあえずチャレンジしてみましょう。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。